

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】 第 1 部門第 1 区分
【発行日】 令和 6 年 5 月 10 日(2024.5.10)

【国際公開番号】 WO2020/221572
【公表番号】 特表 2022-530307(P2022-530307A)
【公表日】 令和 4 年 6 月 29 日(2022.6.29)
【年通号数】 公開公報(特許)2022-117
【出願番号】 特願 2021-556521(P2021-556521)
【国際特許分類】

10

A 2 3 L 5/00(2016.01)
A 6 1 K 9/16(2006.01)
A 6 1 P 3/02(2006.01)
A 6 1 K 31/07(2006.01)
A 6 1 K 31/122(2006.01)
A 6 1 K 31/355(2006.01)
A 6 1 K 31/592(2006.01)
A 6 1 K 31/593(2006.01)
A 6 1 K 47/36(2006.01)
A 6 1 K 47/40(2006.01)
A 6 1 K 47/02(2006.01)
A 6 1 K 47/32(2006.01)
A 6 1 K 47/44(2017.01)
A 2 3 L 33/15(2016.01)
A 2 3 L 29/20(2016.01)

20

【F I】

A 2 3 L 5/00 F
A 6 1 K 9/16
A 6 1 P 3/02 1 0 2
A 6 1 P 3/02 1 0 9
A 6 1 K 31/07
A 6 1 K 31/122
A 6 1 K 31/355
A 6 1 K 31/592
A 6 1 K 31/593
A 6 1 K 47/36
A 6 1 K 47/40
A 6 1 K 47/02
A 6 1 K 47/32
A 6 1 K 47/44
A 2 3 L 33/15
A 2 3 L 29/20

30

40

【誤訳訂正書】
【提出日】 令和 6 年 4 月 26 日(2024.4.26)
【誤訳訂正 1】
【訂正対象書類名】 特許請求の範囲
【訂正対象項目名】 全文
【訂正方法】 変更
【訂正の内容】

50

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

- (a) 少なくとも 1 種の脂溶性ビタミンを含む固体コアと、
- (b) 架橋された少なくとも 1 種の発酵性生体ポリマーを含む内側コーティングと、
- (c) 胃条件に対して耐性があり、小腸で放出性となる外側コーティングと、

からなる、大腸における放出のための多粒子送達製剤。

【請求項 2】

前記固体コアが、ビタミン A、D、E 及び／又は K（並びにこれらの誘導体）からなる群から選択される少なくとも 1 種の脂溶性ビタミンを含む、請求項 1 に記載の多粒子送達製剤。

10

【請求項 3】

前記内側コーティングの材料が、アルギネート、キトサン、ペクチン、シクロデキストリン、並びにその他のガムからなる群から選択される、請求項 1～2 のいずれか一項に記載の多粒子送達製剤。

【請求項 4】

前記内側コーティング層が、Zn、Mg、及び／又は Ca イオンによって架橋される、請求項 1～3 のいずれか一項に記載の多粒子送達製剤。

【請求項 5】

前記外側コーティングが、セラック、メタクリレートコポリマー、及び脂肪からなる群から選択される、請求項 1～4 のいずれか一項に記載の多粒子送達製剤。

20

【請求項 6】

請求項 1～5 のいずれか一項に記載の多粒子送達製剤の製造方法であって、前記方法がバッチ式で実行される、製造方法。

【請求項 7】

請求項 1～5 のいずれか一項に記載の多粒子送達製剤の製造方法であって、前記方法が連続して実行される、製造方法。

【請求項 8】

請求項 1～5 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つの多粒子送達製剤を使用して、プレミックス、栄養補助食品、食品、飼料製品、パーソナルケア製品又は医薬品を製造するための方法。

30

【請求項 9】

請求項 1～5 のいずれか一項に記載の少なくとも 1 つの多粒子送達製剤を含む、プレミックス、栄養補助食品、食品、飼料製品、パーソナルケア製品又は医薬品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0012

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0012】

封入マトリックスとしては、発酵性生体ポリマーが使用されている。マトリックス封入時、活性物質は、保護用のマトリックス（この場合は発酵性生体ポリマー）内に均一に分布している。しかしながら、マトリックス封入には、いくつかの深刻な欠点がある。生体ポリマーは粘度が高いため、例えば、噴霧乾燥又はゲル封入時のマトリックス溶液は極めて希釈されており、乾燥するのが困難で費用がかかる。マトリックス封入におけるペイロードは比較的低いものである（典型的には 50 % 未満）。

40

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0016

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

50

【 0 0 1 6 】

本発明による新規送達システム（ＤＳ）は、

- （a）少なくとも１種の脂溶性ビタミンを含む固体コアと、
- （b）架橋された少なくとも１種の発酵性生体ポリマーを含む内側コーティングと、
- （c）胃条件に対して耐性があり、小腸で放出性となる外側コーティングと、からなる

。

【 誤訳訂正 4 】

【訂正対象書類名】 明細書

【訂正対象項目名】 0 0 2 0

【訂正方法】 変更

10

【訂正の内容】

【 0 0 2 0 】

本発明による送達システムは内側コーティングを含み、この内側コーティングは定義された基準を満たす必要がある。内側コーティング（発酵性生体ポリマー）に好適な材料は、例えば、アルギネート、キトサン、ペクチン、シクロデキストリン、並びにその他のゴムである。内側コーティングに好ましいコーティング材料は、アルギネート又はペクチンである。

20

30

40

50